

市町村別ユニバーサルデザイン化の進捗状況(1/2)

- 全国の平均利用客数3,000人/日以上の駅周辺地区の道路の整備率と生活関連施設への到達率を調査
- 調査対象駅数は約2,800駅、対象道路延長は約6,000km
- 整備率が50%未満の市町村は約5割、到達率が50%未満の市町村は約7割

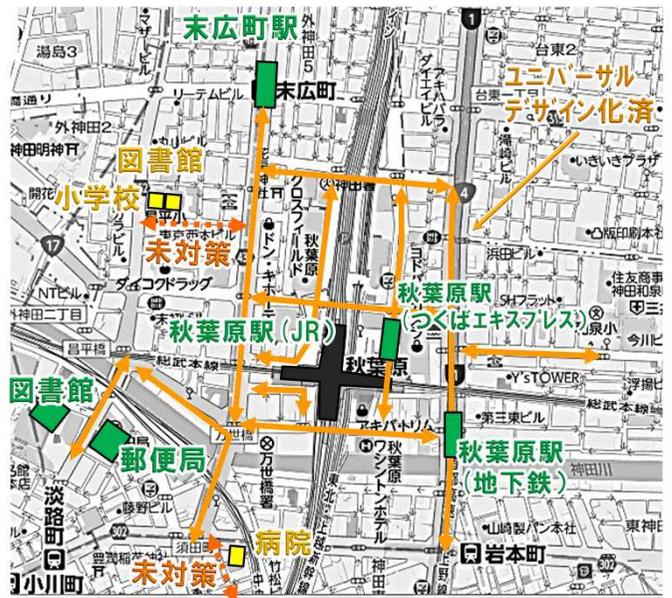
整備率、到達率の考え方

整備率：駅から半径500m圏内の生活関連施設※1を連絡する道路のうち、ユニバーサルデザイン化された道路の割合
 到達率：駅からユニバーサルデザイン化された道路で連絡している生活関連施設の割合

※1：高齢者、障害者等が日常生活又は社会生活において利用する旅客施設、官公庁施設、福祉施設など

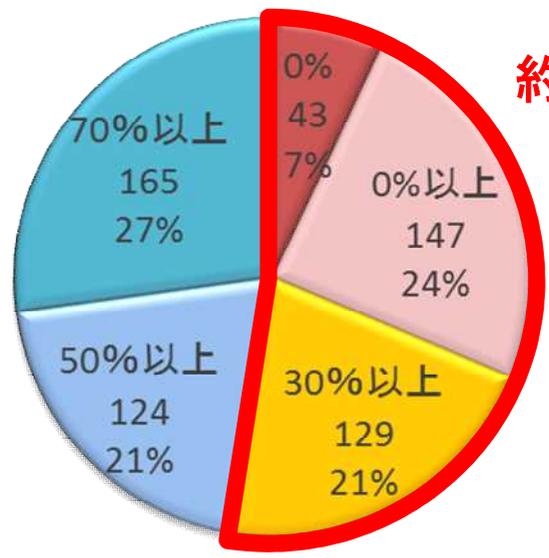
■到達率の考え方(秋葉原駅周辺の例)

(秋葉原駅から500mの範囲)

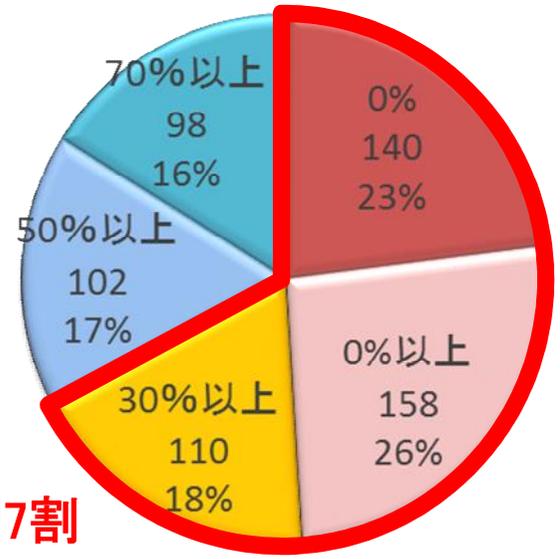


・例えば秋葉原駅では8施設のうち、5施設がユニバーサルデザイン化された歩行空間で到達可能(5/8=63%)

■市町村の整備率の状況



■市町村の到達率の状況



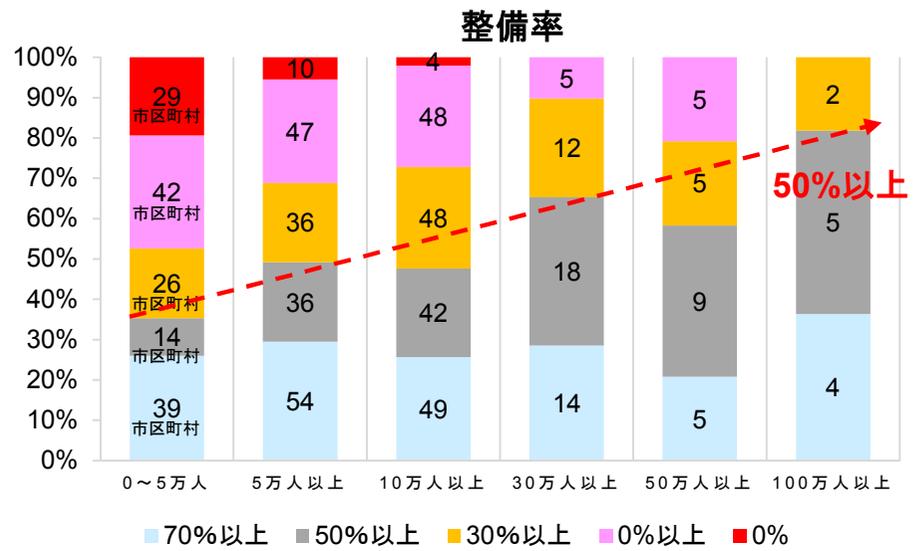
市町村別ユニバーサルデザイン化の進捗状況(2/2)

○人口規模が大きいほど整備率が50%以上の市町村の割合が高い、一方、到達率が50%以上ある市町村は約1/3にとどまる

○基本構想※2を作成していない駅は、基本構想を作成している駅と比較して整備率・到達率共に低い傾向

※2:バリアフリー法に基づき、市町村が作成する移動円滑化に係る事業の重点的かつ一体的な推進に関する基本的な構想

■人口規模別の整備率、到達率(市町村数別)



■駅の利用客数別の平均整備率、到達率(基本構想有無別)

